



病児保育室

GEOだより

第10号
2018年
12月号



皆様こんにちは、病児保育室GEOです。あっという間に2018年も幕を閉じようとしていますね。年末と言えば流行語大賞でしょうか。先日、ワクチンのときに動いてしまうお子さまに『だめよ～、ダメダメ』と言ったところ口をポカーンと開けられ、保育室長が得意とする『PPAP』をしても反応がなく、接種が終わってから『上手にできたね、神ってるね』と伝えても無言のままでした。相手の年齢にもよりますが、流行語は時を経ると効果が弱くなってしまいますね。そんな流行語とは逆に、皆様の未来が今以上に素敵な笑顔に溢れ、豊かな気持ちになれる一年間となりますよう心からお祈り申し上げます。

糸魚川こどもクリニック 病児保育室GEO 院長 渡辺 祐紀

ハロウィンパーティー

10月に企画いたしましたパーティーは残念ながら参加者が集まらず中止になりました。しかし、せっかくの企画をムダにすることはできない、という強い思いを抱いた室長が準備を入念に行い、日を改めて待合室で行ったところたくさんのお子さまが集まり大いに賑わいました☆彼の原動力は太陽のように輝くお子様の笑顔だそうです。



包装



創作



装飾



お母さん・お父さんの強い味方!! 糸魚川市南押上1丁目16番3号
糸魚川こどもクリニック ☎025-556-6255

GEO最新情報掲示板 便利な情報が満載!

インフルエンザ最前線 ～ 院長先生に訊きました ～

年末年始には大切なイベントがたくさん控えていますね。楽しいクリスマスやお正月、中高生であれば人生の分岐点とも言える受験も控えています。それらを台無しにする悪魔と言えば…、そう豪雪とインフルエンザです。すでに上越市と富山市で報告がされています(2018年11月現在)。

タミフル大国の日本 ～ たくさんあれば安心・安全? ～



さて、このインフルエンザの特効薬にタミフルという薬品があります。聞いたことがある、使われたことがある方が多いのではないのでしょうか。実は、このタミフルを世界で最も備え・蓄え・使っている国が日本なのです。それなら感染しても安心と思われるかも知れませんが、この薬を使う頻度が高いために日本では数%のウイルスが耐性を持つようになり、効き目が弱くなってしまっているのです。

やっぱり予防が大切!! ～ クスリの使用は最小限に ～



『うがい』『手洗い』をこまめに行い、ご家族皆様で『予防接種』をされることで感染を予防する効果が高くなると実証されています。インフルエンザは幼い子どもや高齢者の命を奪う恐ろしい一面もありますので、予防対策を十分に行い発症してしまっても人にうつさないように気を付けましょう。発症時は病児保育室GEOもご利用くださいませ。

サンタがGEOにやってくる!

病児保育室で保育士と一緒にクリスマスを楽しむアイテムを作ってみませんか? 12月15日(土)午後2時頃を予定しております、事前にご連絡を頂けると嬉しいです。

★★詳細はHPでもご確認いただけます★★

本年も大変お世話になりました、新年もよろしくお祈り申し上げます。

<https://www.itoigawa-children-clinic.jp/>

病児保育室ジオ ☎025-556-6222

